

## 第14回徳島東部定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

と き 令和6年2月13日（火）午前10時から午後11時30分

ところ ホテル千秋閣（7階 鳳の間）

### 1 開会

### 2 徳島市あいさつ

#### ● 企画政策部長挨拶

- 徳島市企画政策部長の永戸でございます。本日は大変お忙しい中、第14回徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン懇談会にご出席いただき、ありがとうございます。
- さて、地方では著しい人口減少・少子高齢化が進行している中、国においては、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定され、その中に「地域ビジョンの実現に資する施策間連携・地域間連携」が盛り込まれており、「定住自立圏構想」はその具体的な手段の一つとされております。
- ご承知の通り、徳島東部地域におきましては、平成23年から定住自立圏構想に取り組んでおり、現在は令和3年に策定した「第3次徳島市東部地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、様々な連携事業を進めているところでございます。
- また、新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた連携事業も、感染症法上の5類移行に伴い徐々に再開できつつあることから、圏域の将来像の実現に向けて、ビジョンに掲げた具体的な取り組みを着実に実行し、徳島東部圏域の一層の発展につなげてまいりたいと考えております。
- 本日の懇談会では、委員の皆さまから、こうした取り組みに対して忌憚のないご意見を賜りまして、住民の皆さんが安心して暮らし続けたいと思える魅力ある圏域づくりに反映してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### ● 事務局

- 委員紹介

### 3 議事 第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況及び変更について

#### ● 会長

- 四国大学短期大学部の加渡でございます。本日はご多用の中、委員の皆様、関係市町村・関係各所の皆様には、ご出席賜りましてありがとうございます。
- 昨年来発表されております国の人口推計・将来推計を拝見しますと、総人口の減少、労働力の減少はもとより、高齢者の単身世帯の増加など、持続可能な地域を作っていくうえで私たちが直面する課題はますます多く、多様になるばかりでございます。
- そのような現状の中で、一つの市町村では無理でも周辺の市町村と一緒にならできないか、広域連携が進めばもっと住民にとって住みやすい幸せな地域が作れるのではないか、そういったことを考える一つの場として、この懇談会が設けられていると承知しております。
- 本日は、委員の皆様それぞれの専門分野、政策分野に基づいて、様々なご意見・アイデアを頂戴したいと存じます。限られた時間ではございますが、活発な議論の展開をお願いして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

#### ● 事務局

- 資料1「第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況について」を説明
- 資料2「第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの変更案」

昨年12月に国立社会保障・人口問題研究所より、市町村別将来推計人口が公表されたことを受け、3ページに掲載しております「総人口の推移」を最新のデータに置き換えるとともに、4ページの「3将来の人口目標」についても推計値を変更しております。

令和7年の推計人口は平成30年3月推計より、徳島県全域で8,656人の減、うち12市町村圏域では1,625人の減となり、令和17年の推計人口も同様に、徳島県全域で12,917人の減、うち12市町村圏域では3,650人の減となっております。

また、7ページ以降に掲載している各取組事業につきましても、令和6年度の現時点における予算措置の状況等による事業費の変更といった、所要の修正を行っております。
- 資料3「共生ビジョン連携事業一覧の変更案」

各取組における市町村ごとの予算措置状況をとりまとめております。

#### ● 会長

- ただ今、事務局から共生ビジョンの20項目の取組状況および変更についてご説明をいただきました。取組状況では85%が「順調」または「概ね順調」で推移しているという評価でした。
- ここからは、委員の皆様からビジョン全体でも各項目でも構いませんので、ご質問・ご意見・ご提案を頂戴したいと思います。

- 委員
  - 「観光開発・観光誘致事業」について、徳島市が行った調査結果等を他の市町村にも共有されていますか。もしされていないのであれば共有をお願いしたいです。圏域では徳島市の阿波おどり以外大きな観光資源があまりありませんが、旅行の形態は変化しており、アドベンチャーとかサステナブルといった視点は今後重要になると感じています。ファミツアーの成果があればご披露ください。
  - 「特産品ブランド化・地産地消推進事業」について、「とくしまIPPIN店」のホームページを開いたところ、エラーとなっています。確認の上、修正をお願いします。
  - 「中心市街地都市機能整備事業」は圏域住民のみならず、県民全体が長年期待しております。失礼ながら、県都の顔となる中心市街地の活性化が叫ばれて久しいですが、新ホール整備や徳島駅周辺の再開発など、新しい県知事の考えや政治的な影響も大きいと思いますが、市長が変わるたびに方針も変わるとも取りざたされております。全くの感想ですが、このままの推移では行く末がかなりしんどいと思います。
  
- 会長
  - 1点目としてサステナブルツアー・ファミツアーの実施内容や成果について、2点目として「とくしまIPPIN店」のホームページについて、さらに中心市街地の今後の方向性について、事務局からご説明やご回答をお願いいたします。
  
- 担当部会事務局
  - 「観光開発・観光誘致事業」の情報については、DMOや各市町村等と共有しながら取り組んでおり、通年型・滞在型観光が非常に大事になっており、観光に訪れた際、圏域をそのまま通過する形ではなく、少しでも滞在時間を長くし、宿泊にも繋げたいとのことで、へんろ道・文化財等をはじめとする文化的な要素、アクティビティな活動ができるコースを今後設定し、DMOや圏域市町村と連携し、圏域全体で取り組みを進めたいと考えております。
  
- 担当部会事務局
  - 「とくしまIPPIN店」のホームページは後ほど確認して対応致します。「とくしまIPPIN店」の認定は、以前藍場浜公園で開催しておりました農林水産展・食材フェアに代わり、東部圏域の安全・安心な食材のPR、地産地消の推進のための取り組みで、コロナの影響による店舗の廃業等もありました。各種SNSでの発信に加え、にぎわい交流課と連携し公式観光サイトへの掲載を進めます。また新規就農者への協力を得て、イベントへの参加等で徳島産の食材のPRを検討し、関係市町村や各課と連携して取り組みたいと考えております。
  
- 会長
  - 「とくしまIPPIN店」のホームページはエラーのようなので、対応をお願いします。徳島には美味しいものがたくさんあり、ウェルネス資源にも注目されているので、マップを

作際に「とくしまIPPIN店」がわかる表記を加えてみてはどうでしょうか。

- 委員

- 「トレイル」に関してDMOの取り組みを紹介いたしますと、先週日経新聞で「低山に登る」という特集の中で、「ハイクトクシマ」が徳島県への定着への取り組みとして紹介されました。
- 人数に関する成果指標がいくつかありますが、それを達成することでどれだけの経済効果が見込めるかという裏付けに基づいて、設定人数を考えた方がいいと思います。具体的には人口減少につれ消費支出も減少することから、マイナス幅をどう埋めていくかを考えればいいと思います。3月末にレポートを出す予定なので、ご参考にしてください。
- 「移住・長期滞在推進事業」は順調に達成しているようで、東部圏域は注目される要素があると思います。今回研究所が開催するセミナーでは、越後湯沢で移住に繋がる旅行・観光を推進しているDMOの運営に取り組んでいる方を講師としてお迎えしますので、移住やDMOに関心がある方にご参加いただきたいです。

- 会長

- 日経新聞ではかなり大きく取り上げられており、また低い山を楽しみながら登るところが魅力的にとらえられているようです。移住・長期滞在は順調に推移しているようですが、連携した取り組みのご紹介はございますか。

- 事務局

- 移住者数に関しては近年順調に伸びており、今年度も前年度より多いペースで伸びております。近年の傾向では、コロナ禍で東京圏から移住し、勤め先を変えずにテレワークを続けている方が多い印象です。また徳島市では移住体験ツアーやワーキングホリデーと、実際に徳島に来て暮らしを体験してもらう取り組みを行っており、各市町村でも地域の特色を生かした様々な移住に関連する事業を展開しております。また地域おこし協力隊なども活用し、移住については各市町村ともに近年力を入れている部門だと認識しております。

- 委員

- 「とくしまIPPIN店」は通常のパンフレットとは別に、訪れた人に何らかのメリットがあるような取り組みはされていますか。もしくは今後考えられていますか。
- 「コミュニティビジネス起業支援事業」のセミナーの支援は順調なようですか、起業などセミナー後の支援はありますか。また実績を教えてください。
- 「鳥獣害対策推進事業」について、徳島市でもイノシシやサルが出ると聞きます。徳島市においても猟友会との連携や、発見時の連絡先のPRをしていただけたらと思います。
- 「中心市街地都市機能整備事業」で眉山公園の整備計画として、現在サウンディング調査を行っている段階で、民間と徳島市で一緒に進めていると聞きますが、かなりの資源になると思うので、このビジョン内の取り組みに含めるといいのではないのでしょうか。

- 担当部会事務局
  - 「とくしま I P P I N店」に関し、以前はお店を訪れた際にサービスが受けられた記憶がありますが、現在は実施しておりません。
  - 「鳥獣害対策推進事業」の徳島市の相談窓口は農林水産課ですが、対策としては地域で取り組むというスタンスをとっております。侵入防止柵を設置する場合、国の交付金で9割の補助が受けられ、地域全体でまずどこを守るかを協議し、地図に落としながら柵を設置しています。年間400頭ほどのイノシシを捕獲していますが、被害はなかなか減りません。ニホンザルについても大型檻を設置し、猟友会とも連携して檻の移動等も行っておりますが、なかなか捕獲の実績があがっていない状況です。相談があった際には、まずは草刈りを行うや食物残渣を置かないなど、自分たちで行える対策をご案内し、それでも被害が収まらない場合は現地を確認し防護柵の設置等を検討するので、まずは農林水産課にご相談ください。
  
- 担当部会事務局
  - 「コミュニティビジネス起業支援事業」では令和4年度セミナー受講者の方で1件起業された方がいらっしゃいます。今後も、商工会議所や各種金融機関などの支援事業者と連携しながら、起業に関する相談等を続けていきたいと考えております。
  
- 担当部会事務局
  - 「眉山公園」は山頂になかなか魅力的なコンテンツが整備出来ていない状況で、サウンディング調査を行い、関係各所の皆様のご意見をお伺いしたところです。内容を整理したうえで、魅力が向上する整備方法等を検討し、お示ししたいと考えております。
  
- 事務局
  - 眉山に関し、「中心市街地都市機能整備事業」でのご質問でしたが、徳島市では令和4年度より「中心市街地活性化基本計画」を策定し、様々な取組みを進めております。眉山は中心市街地のエリアには含まれませんが、隣接する魅力ある資源として連携しながら中心市街地の活性化を進めたいと考えております。
  
- 委員
  - 「ニュースポーツ用品の相互利用事業」について、藍住町では老人会や地域の団体を中心に社会福祉活動の一環としてさまざまなニュースポーツを行っており、年齢・性別問わず手軽に取り組めるスポーツと認識しています。藍住町では令和5年度も老人会の主催で2回ニュースポーツ大会を実施し、100人超の参加がありました。いろいろな種目があると思いますが、それぞれの活動団体がどのような用品を持っているか把握されていますか。また相互利用の事業内容や成果指標を具体的にどのように考えているのかを教えてください。
  
- 担当部会事務局
  - 徳島市ではカローリングとペタンクを毎月1回スポーツ推進員の指導の下、内町小学校

で開催しております。事前申込制ではなく多い月で 50 人ほど、平均でも 20～30 人が参加して楽しんでいただいております。参加者の年齢層は高いようです。カーリングに似ていて体育館で行うカローリングの用品を徳島市で所有しており、現在圏域内での貸し借りの実績はないですが、お声かけいただければ対応させていただきたいと考えております。

- 委員

- ▶ 今後具体的にどのような事業を検討しているのか教えてください。

- 担当部会事務局

- ▶ 徳島市ではスポーツ推進員を中心に活動しており、おそらく他の市町村でもスポーツ推進員がいらっしゃると思うので、横のつながりを利用して何かできればと考えております。今回の委員さんのご提案を持ち帰り、徳島市のスポーツ推進員に伝えて何かできるかを検討いたします。

- 委員

- ▶ 人口減により広域化せざるを得ない状況にあるなか、事情はあると思いますが、首長が変わることで方針が大きく変わることがないようにお願いしたいと思います。

- ▶ 人材の派遣に関し、石井町でも待機児童が多く、資格所有者の相互交流や派遣ができればありがたいと考えております。学童では施設はあっても支援員がいないため受け入れられないといった状況があると聞いておりますので、近隣の市町村で情報交換出来てお互いにフォローできればいいと考えております。

- 委員

- ▶ 元農業委員で自身も農家をしておりますが、高齢者やひとり暮らしの人も多くて、周囲をみても後継者がおらず、耕作放棄地がいたるところに見受けられます。中間管理事業により企業が耕作してくれている農地もありますが、全てが耕作してもらえているわけではありません。周囲に迷惑をかけるので、と草刈りや果樹の収穫をするにしても限界があり、農地も簡単には手放せず、農家はみんな困っている状況です。世界の情勢も不安定ななか、物価の高騰や自給自足・食料自給率などを考えると、農地は残しておくべきだと考えますが、このような現実をどうすればいいのかと悩んでおります。

- 担当部会事務局

- ▶ 徳島市も農業従事者の平均年齢は 63.7 歳と高齢化しており、遊休農地も多い状況です。国でも「人・農地プランに代わる地域計画」として、今後 10 年間で地域農業の維持・発展させるかを地域で話し合い、令和 7 年 3 月までに策定できるよう各市町村で取り組んでおります。農地中間管理機構に関しては、徳島市においても貸し手の方が多くてマッチングが進まず、耕作放棄地の解消には至っていない状況ですが、若い就農者の中には規模拡大を希望される声も聞かれます。農協と協力して機械の無償貸与等を行い、営農再開に繋ぐ取り組

みも行っております。Uターンや定年退職後に農業に取り組みたいと相談があっても、後継者・新規就農者の支援にあたる国の条件に該当しないケースも多いことから、年齢要件の引上げ等の緩和措置を国に要望したいと検討しているところです。引き続き、農地中間管理機構や農協、農業委員と連携して少しでも耕作放棄地の解消に努めたいと思っております。

- 委員

- 成果指標の進捗評価について、順調もしくは概ね順調の割合が高く、全体として概ね順調に推移していると思われまます。進捗状況では要因を分析したうえで、今後の方向性を決めていると思われまますが、社会情勢等で思い通りに指標が伸びない場合には、指標の数値にこだわるのではなく、要因を分析して取り組んでいくと、要因の解消に伴い数値も自動的に改善されてくると思われまます。
- 「圏域内図書館相互利用事業」は順調に伸びており、おそらくシステムの共有などが推測されまますが、限られた蔵書数・予算の中で広域化していくことは、貴重な経験や交流などさまざまな効果があり、PR等に積極的に取り組めばさらに効果が出るのではと思われまます。

- 委員

- 「中心市街地都市機能整備事業」に関し、私自身は地域ににぎわいを取り戻したいという思いで20年以上活動してまます。徳島ではどうしても移動手段が自動車であり、にぎわいを取り戻すほど、駐車場問題が出てくることに悩んでまます。万代中央埠頭でも出店者が増え、コミュニティも形成し、意見をまとめて行政にも要望を行ってまます。当初の将来ビジョンでも駐車場問題は想定してまましたが、今まさにその問題に直面してまます。周辺の広い駐車場を持つ商業施設に迷惑をかけてまます。また本来は交流の場として、公園や緑地にしたいエリアを駐車場として利用してまます。公共交通機関の利用を促しても実際の利用者は少なく、他の地域を見ても、活動すればするほど駐車場に関し周囲に迷惑をかけることが切実な問題です。
- 単発のイベントでの盛り上がりはありますが、普段のにぎわいにどうつないでいくかが大事だと考えまます。

- 会長

- 活性化した地域は話題に取り上げられまますが、そこに行くためのアクセス手段をどうするのかという問題は、地方都市特有の悩みと言えまます。中心市街地への交通アクセス問題について、徳島市はどのようにお考えでしょうか。

- 事務局

- 中心市街地へのアクセスとしまましては自動車の利用者が非常に多い一方で、高齢者等の自動車が使えない方に対しては、一つの対策として中心市街地を廻るAIデマンドバス「のるーと徳島市」を今年1月から運用を開始するなど、公共交通を充実させることにも取り組んでまます。駐車場があるところに人が集まりやすいという徳島の特性を変えていく方

法としては、たとえば魅力的なコンテンツと公共交通を結びつけるなど、長期的な視点で検討していかなければいけないと考えております。

- 委員

- 「観光開発・観光誘致事業」について、新型コロナ5類以降に伴い、特定の観光地についてはインバウンド需要が回復しているようです。徳島においてはなかなか波及していないとのことですが、徳島小松島港には昨年度20数隻のクルーズ船が寄港しました。乗船客数は最大で2,000人、トータルで4万人ほどですが、確実に徳島に来ているインバウンド客がいると気づいていただきたいです。クルーズ客は大塚国際美術館・阿波おどり会館・かずら橋など特定のスポットにしか出向いていない傾向です。クルーズ船は年間計画で日程が事前に決まっていることから、各市町村のさまざまなイベントの計画する際に、インバウンド客の集客なども考慮していただけるといいのではとご提案いたします。
- 「起業誘致活動推進事業」について、起業誘致活動は順調に進んでいる印象がありますが、小松島市においては地元企業でも求人難という現状があります。企業が誘致できてもそこで働く人材がいなくても想定されますが、どのような対策をお考えかお聞かせください。

- 担当部会事務局

- クルーズ船につきましては、到着時にお出迎えを行っており、特に阿波おどりの時期には非常に多くのインバウンド客が来ていただいていることは承知しております。周辺市町村と情報共有し、うまくイベントにつなげていける方法を今後検討したいと考えております。
- 「起業誘致活動推進事業」について、徳島市では地元の方の雇用等を条件に、雇用奨励金制度を設けております。圏域の市町村に加えて徳島県とも連携しながら、企業誘致を進めたいと考えております。

- 委員

- それぞれの事業の点と点がつながっていけばより効果的になるのではと考えています。株価は上昇しているようですが、私たちの生活にはまだまだ不安感があります。
- 駐車場問題について、アミコの駐車場は社員さんで埋まっていて、一般のお客さんが利用しづらい状況となっていると知り、公共交通機関を使っての通勤がもっと進めばと考えています。四国の県庁所在地では唯一路面電車もないことから、最初は赤字かもしれませんが、周遊バスやデマンドバスなどの取り組みを推進することで意識も変わってくるのかなと思います。
- インバウンド客に関しても、これまでとは別の視点、たとえば裏路地の飲み屋さんや農業体験など、地元が考える以上にインバウンド客が魅力を感じる素材が埋もれているのではないかと考えています。

- 会長

- 委員の皆様から、それぞれのバックボーンに基づいたたくさんの意見を頂戴することが



できました。ありがとうございました。進行を事務局へお返しします。

- 事務局

- 本日は、貴重なご意見・ご提言をいただきましてありがとうございました。委員の皆さまからいただきましたご意見・ご提言につきましては、今後の取組において、検討を進めてまいりたいと考えております。委員の皆さまにおかれましては、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 委員の皆さまに本日の懇談会会議録の確認についてお願いがございます。後日、事務局から、委員の皆さまに会議録案をご送付いたしますので、お手数ではありますが、ご自身の発言部分につきましてご確認いただき、修正等がございましたらご返送いただきますようお願いいたします。

- 会長

- ただいまの件につきまして、皆さまお手数ですが、ご確認をお願いいたします。以上をもちまして、第14回徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了いたします。本日は、皆さん、長時間にわたりありがとうございました。

以上